

令和5年度「未来の技能者育成事業」体験授業実施結果報告書

2024.2.20(火)

事業コード	23-G-12	学校名	羽島市立竹鼻小学校		住所	羽島市竹鼻町1295番地1
実施日	12月20日(水)9:50~12:05			受講児童生徒数	114名(5年生)	
開講職種数	8職種	指導者数	15名	参観保護者数	0名	

学校アンケートの結果

- 体験授業全体を通して、満足していただける内容となっていましたか
→ ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
- 貴校の児童生徒が将来技能者を目指すに当たっての課題や、ご意見があればお聞かせください
→
 - ・キャリア教育として、職業講話や講師を迎えての体験活動を充実していきたいと考えているが、人材や予算の関係で困難さを感じている。
 - ・今回のような機会を通して、夢について具体的に考えられる児童を育てたいが、講話と体験をバランスよくやっていただけの依頼先には限りがある。

会場担当教員アンケートの結果（8会場の先生）

- この体験授業にて児童生徒にものづくりの魅力や意義が伝わったと思いますか
①大変よく伝わった → ②ある程度伝わった →
③あまり伝わらなかった → ④全く伝わらなかった →
- 児童生徒の皆さんが技能者を目指すに当たっての課題と思われることを自由にお書きください
→
 - ・本校では、5年生を対象に実施しました。5年生の発達段階から見ると職業観を構築するための経験不足は否めないと感じましたが、第三者から学ぶ機会としてとても有効な事業でした。当日意欲的に学ぶ姿を見ていると、指導の質の大きさとこれに応じる児童の可能性を改めて感じました。(広告美術仕上げ会場)
 - ・将来の夢を考えると、インターネットやTVの情報だけで技能者を志そうとする児童はほとんどいない。今回のように、実際に体験してこそ具体的な夢として考えるきっかけとなると改めて感じた。こういった体験活動を、自前でやることのハードルが高いのが課題であると感じた。(電子機器組立て会場)
 - ・将来の夢を聞くと、習い事に関わるものや、児童の近くにいる大人の職業が多いように感じる。たくさんの職業があることやその仕事内容、魅力を知る機会を増やすと児童の選択肢も広がると思う。(和裁会場)
 - ・教員が学校以外の職業等について知っていることは、あまり多くありません。専門の方にお話を聞いたり、実際にその仕事風景を見たりする機会は、児童たちが技能者を目指すにあたって大変重要だと考えます。(寝具製作会場)
 - ・このような体験ができる機会が少ない。できれば、毎年でも開催できるとよい。(かわらぶき会場)
 - ・体験を通して学ぶ機会が少なく、TVやインターネットの情報が就きたい職業となる傾向がある。今回のような体験を通して、技能者という仕事へ意識を向けていくことが必要であると感じている。(左官会場)
 - ・自分たちの生活している家を作るのに、どれだけの技能者が関わっているかなど、具体的に想像できる児童は少ない。今回の体験を通して、自宅の壁紙だけでなくショッピングモールなど大きな建物を施工することなどもイメージできたように感じた。こうした経験の乏しさが一番の課題である。(内装仕上げ施工会場)
 - ・自分で自由に作って良い時(尚且つ特に完成イメージがない)時に、自分で考えてアイデアを作品に反映させること。(フラワー装飾会場)

指導者アンケートの結果（8職種の各代表）

1 今回の授業は指導者として満足できる内容になったと思いますか

- ①多くの児童生徒が、講話に傾聴し、積極的にものづくり活動に取り組むなど、大変満足できる内容であった
 ②興味関心を示さない児童生徒も少しはいたが、概ね満足できる内容であった
 ③興味関心を示さない児童生徒が多く、あまり満足できる内容ではなかった
 ④ほとんどの児童生徒が興味関心を示さず、まったく満足できる内容ではなかった

8

2 今後の業界における人材育成の課題についてお聞かせください。また、その課題の解決に関して、この体験授業の中でさらなる要望がありましたら、お聞かせください

- ・現状広告業界は、コンピューター(MCイラストレーター)の発展により、技能者が高齢化して現場文字書きの職人が不足していて、大きな文字書き(IOM角)の出来る人が減り、結果として遠隔地の現場まで出向いて行っているのが現状です。また、コンピューターを購入すれば誰でも広告業者になって、届出申請がないために、勉強不足の違反看板が横行しています。(広告美術仕上げ職種)
- ・今回、小学5年生が対象であった。物作りに大変興味を持って取り組んでいただき、指導者としてやりがいがあった。多くの学校の子供たちがこのような体験を経験できる機会があってほしい。(電子機器組立て職種)
- ・ものづくりにおいて、道具を使う中では危険と隣り合わせにあるということは、いうまでもないことなのですが、子どもたちに危険である事を認識させたいうえで、道具を使わせていくことも大切であると思います。小学生・中学生の頃に、「技能」を学べる事はとても良い機会だと思います。多くの職種に挑戦し、体験することは、将来の自分の姿を模索するうえでも、大きなヒントにもなると思います。子供達には、「これが好き」を見つけてほしいです。(和裁職種)
- ・若い人の後継者不足は大半の職種も同じで、技能の継承は危機的状況です。そんな中、岐阜県独自の事業としてこの体験授業が実現したことは、全国に誇れる素晴らしいことだと思います。子ども達にもものづくりの魅力を直接伝える機会ができ、教える側にとっても刺激になっています。先の長い取り組みですが、後継者の掘り起こしにつながるこの事業については、今後も引き続き継続を願います。(寝具製作職種)
- ・今回の体験授業では小学5年生の児童に講習をさせていただきましたが、児童は講話・体験に興味関心を示しました。特に体験には興味を示し、瓦を手を持って触って「思ったより重たい」「初めて触った」などの声がありました。このように実際に本物の材料、本物の道具などに触れる機会が低学年でも行われるといいと思います。今回の体験授業は小学5年生が対象でしたので、のし瓦割り、瓦並べなどの体験が可能でしたが、低学年の児童生徒ですと難しいと思われるので、実際に職人(技能士)の”技”を目の前で見せたり、材料・道具に触れることだけでも、ものづくりに興味を示してもらえるのではないかと思います。(かわらぶき職種)
- ・子供たちがそれぞれの業種がどのような仕事をしているかが分かり、作業して楽しさを伝えることが大切な気がします。(左官職種)
- ・昨今のものづくり分野での若手技能者不足は深刻な状況にあります。私たち内装仕上げ施工職種の分野でも同じ状況です。この状況を打破するためには、進路がまだ固まっていない小学生段階で、活発に体験授業を実施するしかないと思います。大半の小学生達は、私たち技能士のような仕事があることすら知りません。当然、仕事の喜びや魅力も知りません。大都会には身近に「キッズニア」のような小中学生を対象にした体験施設が充実しており、家庭任せでも様々な体験ができます。しかし、岐阜にはそのような施設は無く、また今後できる可能性もありません。そうであれば、私たちが指導者となって、ものづくりの魅力を伝えていければいいと思います。小学校では昨今いろいろなことを教えなければならず、先生方も多忙だと思いますが、そこは地域の子供たちや産業のためのことなので、積極的に体験授業を取り入れてほしいと思います。是非、事業の継続や拡充を期待しています。(内装仕上げ施工職種)
- ・フラワー装飾の業界でも若い人の新規入職や転入者は少ない状況です。後継者不足は他の職種も同じで、技能の継承は難しい状況です。そんな中で、本年度から岐阜県独自の事業として当体験授業が実現したことは、全国に誇れる素晴らしいことだと思います。私たちが指導者となって、将来を支えてくれる子ども達に、ものづくりの魅力を伝える機会ができたことは、きっと後継者の掘り起こしにつながると期待しています。(フラワー装飾職種)
- (その他、改善・要望事項として)
- ・12月はどの職種も一年間で最も忙しい時期なので、できれば12月の第2週以降の開催は避け、それ以外の時期に計画してほしい。(すべての職種)

会場別の指導者数・受講者数・児童生徒アンケートの結果

【児童生徒 アンケートの質問】 今回の体験授業全体を通して、どれくらい満足されましたか

	広告美術仕上げ	電子機器組立て	和裁	寝具製作	かわらぶき	
指導者数	1	1	2	1	4	
受講児童生徒数	15	14	15	14	14	
回答	とても満足した	15	12	15	14	13
	ある程度満足した	0	2	0	0	1
	あまり満足できなかった	0	0	0	0	0
	満足できなかった	0	0	0	0	0
	合計	15	14	15	14	14

	左官	内装仕上げ施工	フラワー装飾	合計(左:人 右:%)		
指導者数	3	2	1	15		
受講児童生徒数	14	14	14	114		
回答	とても満足した	13	13	14	109	95.6
	ある程度満足した	1	1	0	5	4.4
	あまり満足できなかった	0	0	0	0	0.0
	満足できなかった	0	0	0	0	0.0
	合計	14	14	14	114	100

広告美術仕上げ会場の様子



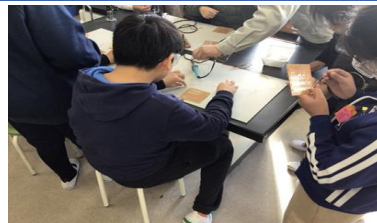
先生の感想

- ・映像やポスターを見せていただくことで、児童は広告美術への興味関心を高め、体験活動や質疑応答に臨むことができた。
- ・マイスターのレタリング実演は、児童にとっては驚きの連続であり静かに見入っていた。文字が描き終わると自然にマイスターへの拍手が沸き起こり、最も心が動かされた場面の一つであった。
- ・表札作りは、児童にとって初めての体験であった。戸惑いもありながらも、緊張感をもって作品作りに取り組めた。講話だけでなく、作品を作り上げる体験ができたことやマイスターから直接教わったり、褒められたりした中での体験は大変貴重であった。
- ・質疑応答の中で、マイスターから、「頼まれたことは自分に関係ないからと断るのではなく、何でもやってみることが大切だと思っています」と経験上のお話をいただきました。それによって、いろいろな資格や人間関係を持つことができ、今の仕事には欠かすことのできないものになってきていることも伺いました。マイスターの人間力を感じるお話であったと感じました。
- ・県内で活躍されているマイスターから直接講話と体験活動をさせていただいたことは大変貴重な体験であった。また、マイスターの仕事への厳しさや誇り、豊かな人間性も垣間見られ、教材としての要素が盛りだくさんであった。この機会をどのように教育計画に位置付けていくかを慎重に検討していくことによって教育効果を更に上げて行きたい。
- ・上記のためにも、次年度以降もものづくりマイスター事業に是非参加させていただきたい。

児童生徒の感想

- ・先生が書いた看板の中に、とても大きい物があってとても驚いた。それが印象に残っている。
- ・姿勢を正し、筆を立てて書くことが上手に書くコツだということが分かった。
- ・製作実演がすごかったし、いつもどんな思いで仕事をしているのか、よく分かりました。
- ・説明を聞いて上手に書いて、終わった瞬間に達成感があった。

電子機器組立て会場の様子



先生の感想

- ・児童の身近にある電子機器から話を広げ、「電子機器組立て」とはどんな仕事なのかを説明して下さったので、とてもイメージがしやすかった。
- ・暗くなると電気が光る実物を用意していただいたことで、その仕組みについて興味が高まったように感じた。また、実際に、組み立てる前のLEDライトと、ボタン電池を使って、LEDライトを光らせる体験をさせてもらった。児童は電池一つで何個まで光らせることができるのか、どうやって接続すると電気がつくのか、試行錯誤しながら考えることができた。体験の中で、LEDライトにも＋と－があることを知り、とても驚いていた。
- ・電子機器組立ての職に就くためにはどうすればよいのかを、マイスターさんの幼少時代の話から、進路選択の話など、実体験をもとに話して下さったので、とても分かりやすかった。どんな高校や大学に行けばよいのかを、具体的に教えて下さったので、児童の中にはその高校を目指そうと目標をもつことができた。
- ・簡易的な風力発電機を作成する体験を通して、少しずれるだけでうまく光らないことが分かった。ハンダ付けや導線の扱い方の難しさを体感することができた。組み立てるのが難しかった分、風の力でLEDライトが光った時には、どの子も嬉しそうに満足していた。その後自分の教室に持ち帰った際に、他の体験をした子たちに見せている姿を見ると、今回の体験がその子たちの心に残るものになったように感じた。なかなか話や体験ができない職業であるからこそ、今後もこのような機会を大切にしていきたいと思った。

児童生徒の感想

- ・今回の体験授業を通して、前より電子機器について興味が湧いてきた。電子機器組立ての仕事も、夢の1つになった。
- ・自分の作った風力発電器でLEDが光った時、すごく嬉しかった。
- ・風の力で発電することを色々な国にも知ってもらって、明るい世界にしたい。
- ・質問することができて嬉しかったし、また風力発電を作ってみたいです。
- ・プロペラを折る方向が違っていると、回らないことがよく分かりました。

和裁会場の様子



先生の感想

- ・マイスターの先生は、事前に児童に伝えたいことをしっかりと準備していただき、聞いていてとても分かりやすかった。児童と同じ年齢くらいの時に感じた縫物のよさや、進路の方向が定まる専門学校の話など、児童のこれからの未来につながる話ばかりだったので、児童たちは関心をもって真剣に話を聞いていた。
- ・体験活動の着付けでは、準備していただいた浴衣や帯などを自分で選び、着ることができると喜び姿が見られた。実際に教えてもらいながら着ていったのだが、後ろが見えずにうまく結べなかったり、浴衣が大きく丈を調整することに悪戦苦闘したりした。困っているとマイスターの先生方が手を差し伸べていただき、さっと手直してくださる姿に、プロのすごさを感じていた。
- ・体験後に、和裁という仕事に興味を持ち、少し挑戦してみようかなという感想を言い合う児童の姿を見ると、目の前でプロの技を見せていただけるとこのような経験は、児童にとってとても刺激になったように感じた。

児童生徒の感想

- ・自分はとても不器用だけど、先生たちの分かりやすい説明でよくわかった。
- ・帯を蝶みたいなりボンにして、結ぶところがすごいと思った。家でもお弁当入れの小さいものを作って、持ち歩けるように作ってみたい。
- ・手縫いで浴衣を作っているという話を聞いて、私も手で色んなものを作ってみたいと思った。
- ・いつも浴衣などの着物を1人で作っているという話を聞いてすごいと思った。そして着物にも、色々な種類があることを知った。
- ・和裁がとても楽しいことが分かったし、先生が職業の選び方などを教えてくれて、将来それを意識して選びたいと思った。

寝具製作会場の様子



先生の感想

- ・人生の3分の1は睡眠時間であり、睡眠の重要性＝寝具の重要性というお話がとても印象に残った。普段寝具について意識が向いていない子どもたちも、興味をもってお話を聞いていた。
- ・綿の扱いは思った以上に難しく、悪戦苦闘したが、分かりやすい説明とサポートをしていただいたおかげで、どの子どもも座布団を完成させることができ、達成感を味わうことができた。
- ・見本で作ってくださるものと自分の作るものを比べ、その技術の高さに憧れをいただいていた。
- ・質疑応答では、「職人を志した時に、うまくいかなかった時の逃げ道を断って臨んだ」というお話から、並々ならぬ決意を感じた。これから進路選択をする際、また普段の学習等においても、「どのようになりたいか」という目標やそれに向かう強い意志など、「自分」の思いが重要であることを子どもたちは感じ取ったと思われる。
- ・分かりやすく、また子どもたちの興味を引き付けるお話で、最後まで集中して取り組むことができました。話のテンポや内容の選び方は、自分にとっても参考になるものでした。
- ・針の数が1本でも足りなければ、布団に紛れ込んでいる可能性も視野に、見つかるまで作業は進めないということを強調されました。私たちも作業をするときに安全に作業することは伝えますが、そこまで厳格に行わなければ安全性を保てないと、自分の指導を見直すきっかけになりました。
- ・時間・準備の都合上、先生のふだんの作業風景や作品等を見ることまではできませんでしたが、見れば子どもたちはさらにもものづくりに興味をもったと思います。

児童生徒の感想

- ・中々ものづくりマイスターさんにお話を聞く機会はないので、とても貴重な体験だったし、とても新鮮だった。
- ・自分で座布団を作ったことがなかったので、少し不安だったが、分かりやすく教えてもらって集中して座布団を作ることができた。
- ・先生の話聞いて、絶対に布団屋をやってみせるという自信がすごいと思った。綿のたたみ方や、綿の種類など色々なことが分かった。
- ・座布団を作るだけでも色々な作業があったけれど、とても楽しかったし、作った座布団はこれからも大切に使っていきたい。
- ・座布団の角を作るのが難しかったが、テキパキと分かりやすく説明しながら作っていたのが印象に残った。

かわらぶき会場の様子



先生の感想

- ・指導者の先生方のお話は、パワーポイントを使いながら、具体的な説明だったので、たいへん分かりやすかった。
- ・体験活動では、初めて使う道具に戸惑いもあったが、指導者の方から丁寧に教えていただき、集中して取り組んでいた。
- ・難しい作業ややり方がわからない作業では、指導者の方や仲間に質問しながら取り組んでいた。
- ・質問時間は、積極的に質問をする子どもの姿があった。指導者の方の熱意が、子どもたちに伝わったと感じる。
- ・本物(プロの技)に触れることができる、貴重な体験になった。
- ・事前打ち合わせ、準備から片付けまで、とてもしっかりと対応していただきました。
- ・これまでの事業の改善点を生かし、職業講話や体験活動の時間配分にも気を付けていただきました。
- ・屋根の形を平面で示すだけでなく、PCを使って3Dで示していただけると、よりイメージがしやすいと思います。

児童生徒の感想

- ・瓦を取り付けることを「葺く」と呼ぶことを初めて知れて良かったし、それを体験できて良かった。
- ・瓦をビスでとめていることを初めて知ってとてもビックリしたし、瓦を割る体験も楽しくて嬉しかった。
- ・体験する前に、講話で色々なことを知ることができて良かった。
- ・かわら割りが気持ちよくて、印象に残ったし、楽しかった。

左官会場の様子



先生の感想

- ・はじめに左官の新人が厳しい練習を通して一人前になっていく様子を動画を見せていただいたことで、左官の仕事の大変さとともに、練習してできるようになった時の喜びを知ることができた。
- ・マイスターの方から、お客さんに喜んでもらえてうれしかったことや、思うようにできないときの苦しかったこと、今でも毎日勉強して乗り越えることなどを教えていただき、仕事の喜びとともに、大変さについても考えることができた。
- ・講話後は、「立壁塗り体験」と「モザイクタイルを使ったコースターづくり」を体験をさせていただいた。
- ・「立壁塗り体験」体験では、コテに材料（繊維壁材料）を取ることの難しさ、壁を均等な厚さに塗ることの難しさを体験した。練習し、できるようになった達成感も味わうことができた。
- ・「モザイクタイルを使ったコースターづくり」体験では、自分の好きなタイルを選び、色の組み合わせを考えて製作することができた。作品が出来上がり、達成感を味わうことができた。
- ・普段できない体験をし、いろいろと教えていただくことができたため、夢をもつことの大切さを実感し、目標に向けて挑戦しようという意欲を高めることにつなげることができた。
- ・職業講話では、動画を活用し、分かり易く説明していただいたことで、左官の仕事の喜びに触れることができた。また、「立壁塗り体験」と「モザイクタイルを使ったコースターづくり」の体験では、丁寧に教えていただいた。うまくできない時には、的確な助言をしていただけた。子どもたちは積極的に体験活動に取り組めた。私たち教員としても大変参考になる職業講話・体験活動だった。

児童生徒の感想

- ・とても分かりやすい説明をしてもらい、また資料ももらったので、よく分かった。
- ・壁を上手く塗れなくて難しかったけど、「左官って楽しいな」と思えた。
- ・「こて」や「しっくい」などの言葉の意味が分かって良かったです。
- ・大切なことを詳しく教えてもらったので、コテの使い方などがとてもよく分かった。また、コテにも種類があることが分かって良かった。
- ・コースターづくりで、色々な種類のタイルがあり、それを貼ってうまく作ることができた。先生が上手に教えてくれたので、キレイにできて良かった。
- ・材料を壁に塗る時のコツは掴めたけど、材料を薄く広げて塗る体験をもう少しやりたかった。

内装仕上げ施工会場の様子



先生の感想

・カラー資料や実物、実演があり、とても分かりやすくお話をしていた。ショッピングセンターやエレベーター、教室や廊下の床、天井など、施工の具体例を多く示していただいたことで、子どもたちは自分たちの身近にある仕事として受け止めることができた。

・製作実演では、仕上がりの美しさに驚きと憧れを感じていた。その後に製作する和紙貼りブックエンドを丁寧に仕上げたいという意欲付けにもなったように感じている。

・「和紙貼りブックエンド製作」では、きれいな柄の和紙を多く用意していただき、子どもたちは思い思いに好みの和紙を選ぶことができた。寸法を測るのに苦労する子どもも数名いたが、マイスターさんの力を借りながら全員が正しく怪我なくカッターナイフで切り取ることができた。カッターナイフ利用時の手の置き方や紙の向きなど、事前の安全指導も確実に行っていただいた。糊付けからの貼り場面では、マイスターさんから引っ張りながら貼るとよいことや角をしっかり立てることなどのアドバイスを受け、どの子どもも丁寧に作業できた。一旦失敗しても糊が乾く前にやり直せば大丈夫と聞いて、安心して進めることができたのもよかった。子どもたちは完成品に満足し、「家に帰ったら〇〇の本を立てるのに使う！」と笑顔で話していた。

・質疑応答では、「大変なこと・苦労すること」「子どものころの夢」「給料に満足しているか」「この職業に就くには」などの質問があった。どの質問も「いい質問だね」などと共感的に受け止めながら進めていただいた。やったらやっただけ給料がもらえやりがいになることや、内装がどんどんきれいに変わっていく楽しさ、就業にはやる気が一番大事であること、カッコいい仕事だと誇りを持っていることなどを熱く語っていただき、子どものもつ働くことへのイメージを明るくポジティブにすることにつながったと感じている。

児童生徒の感想

・辻さんの実演を見たり、自分も体験したりしてとても楽しかった。なので、大人になってこういう職業に就くのも良いと思った。

・糊は、普通に売っているものを使っているのかと思っていただけ、内装専用の糊があることを知ってビックリした。

・紙を張るときに、空気が中に入ったり、シワができたりして難しかったけど楽しかった。先生はプロなので、とても上手くて、空気も全く入っていないしすごいと思った。

・板に和紙を張るときに緊張したけど、二枚目を張るときにはうまく貼ることが出来て嬉しかった。

・ブックエンドを作った時に「糊」の付け方や、壁張り体験で継ぎ目を見えなくするやり方などが印象に残った。

フラワー装飾会場の様子



先生の感想

- ・初めてフラワー装飾を経験する子どもがほとんどだったが、初めて触れるものに感動したり、実演でプロの技を見て驚きと発見を味わったりした。
- ・マイスターの方の話は、とても分かりやすく、子どもたちは興味をもって聞いていた。
- ・子どもたちのイメージするものや入れたい花を実際に生けていただき、フラワーアレンジメントとはどんな仕事なのか、花の角度や入れる場所によって見え方が変わることなどを自分の目で見て実感できた。自分の思いやイメージが思ったように表現されることに思わず声を漏らし、感動する子どもが多かった。
- ・花の種類と大きさが様々あり、どの花を生ければよいか戸惑う子どもに対し、困ったら同じ花を入れるとよいなど、アドバイスやテクニックを的確に教えていただき、子どもたちは安心して体験することができた。
- ・資格について話された際、資格をもつことが自信につながることや、誇りをもって仕事に取り組むことにつながるなど、そのよさについて実体験をもとに話してくださった。子どもたちは将来必要な資格や勉強について、自分も努力しようという気持ちをもつことができた。
- ・体験教室では、カーネーション、フリージア、ユウカリを使って、フラワーアレンジメントを作った。丁寧に指導いただいたので、花の生け方や色の使い方などを工夫しながら、自分だけのアレンジメントができ、達成感を味わっていた。

児童生徒の感想

- ・先生の話でお葬式や結婚式場でお客さんの注文に合わせて作っていることが分かり、実際に見てみると大きなお花を作っていてすごいと思った。
- ・体験を行う前は簡単だと思っていたけど、意外と難しかった。飾るのに少し緊張したけど、すごく楽しかった。
- ・お花をどこに挿そうか迷った。でも思い通りにやれたので良かった。
- ・自分だけのオリジナルの作品を作ることができたので良かった。
- ・初めての体験でフラワーを作るのが楽しかった。またやってみたいと思った。